

2025 年度秋季シンポジウム「持続可能な社会の実現に向けて」

～プラスチック資源循環法とごみ処理事業～

オンライン配信のご案内

2000年に循環型社会形成推進基本法が制定され、廃棄物を循環資源として捉えなおし、その適正な循環的な利用（再使用、再生利用、熱回収）を図り、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷が出来る限り低減される循環型社会形成に取り組んでいる。2015年に欧州委員会がサーキュラーエコノミーに向けたEU行動計画（別名CEパッケージ）を発表し、これらの流れで出来たプラスチック資源循環法（2022年施行）は、プラスチック容器包装はもちろん、プラスチック使用製品まで分別収集、リサイクルを求めている。生活者視点で考えると、どのような対応が望ましいのかを考えてみたい。

1. 開催日時：2025（令和7）年11月28日（金）14：00～17：00

開催当日の視聴が出来ない方は、オン・デマンドサービスにて12月末まで視聴可能です。

2. 開催方法：無観客開催、オンライン中継配信

※参加には事前登録が必要です。参加者は視聴と資料の事前ダウンロードが出来ます。

3. 定員：300名（配信拠点数制限で、定員になり次第締め切らせていただきます。）

4. 事前登録申込締切：11月27日（木）

5. 主催：㈱廃棄物工学研究所

6. 後援：環境省（申請中）

7. 協賛：（公財）廃棄物・3R 研究財団、（公財）産業廃棄物処理事業振興財団、（一社）環境衛生施設維持管理業協会、（一財）日本環境衛生センター、（一社）日本環境衛生施設工業会、（公財）日本産業廃棄物処理振興センター、（一社）プラスチック循環利用協会、
8. 協力：（公社）全国産業資源循環連合会、（一社）廃棄物資源循環学会、（公社）全国都市清掃会議、（一社）日本産業機械工業会、（一社）持続可能社会推進コンサルタント協会、（一社）廃棄物処理施設技術管理協会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、有害・医療廃棄物研究会、産業廃棄物処理業経営塾OB会、フォーラム環境塾・NPO 法人都市環境フォーラム

9. 登録費（消費税込）：協賛協力団体会員：6,600 円、非会員：13,200 円、自治体職員：4,400 円、学生：2,200 円

10. プログラム

時 間	講 演 内 容	講演者
14:00～14:15 15 分	オープニングスピーチ：シンポジウム企画の背景	㈱廃棄物工学研究所代表 田中勝
14:15 ～15:00 45 分	基調講演：脱炭素社会と循環経済社会の実現に向けた廃棄物分野の重点施策（仮題）	環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課・課長 杉本留三 氏
15:00～15:30 30 分	地方行政解説：松山市におけるごみ減量日本一への歩みと今後の製品プラスチック等資源循環やごみ処理広域化に向けた取り組みについて	愛媛県松山市環境部・部長 松本典洋 氏
15:30～15:40	休憩	
15:40～16:10 30 分	特別報告：プラスチック資源循環における容器包装リサイクル協会の役割	（公財）容器包装リサイクル協会 プラスチック容器事業部・課長 小林聡也 氏
16:10～16:50 40 分	ゲスト対談「プラごみの分別収集とリサイクルの現状：生活者の視点からの疑問・提言」	「ごみ分別の異常な世界」共著者 服部美佐子 氏：田中勝
16:50～17:00	クロージングリマーク 閉会	㈱廃棄物工学研究所代表 田中勝

事前登録のお申し込みは、申込用紙にご記入の上、メール添付にて
運営事務局[info@riswme.co.jp]まで送りください。

お問合せ先：運営事務局 ㈱廃棄物工学研究所（担当：石井） Tel/Fax 086-239-5303

※事前登録の申込用紙は、㈱廃棄物工学研究所ホームページ(<http://www.riswme.co.jp>)からダウンロードいただけます。